

短大協発第24154号
平成24年9月14日

理事長・学長 殿
教 職 員 殿
学生生活担当教員 殿
学生部署関係教職員 殿
学寮関係教職員 殿

日本私立短期大学協会
会 長 佐 藤 弘 毅
学 生 生 活 委 員 会
委員長 大 谷 恩

平成24年度「私立短大学生生活指導担当者研修会」開催について（通知）

標記の研修会を別紙実施要領の通り開催いたします。

学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学の教職員、学生生活部署関係教職員並びに学寮関係教職員の方々のご参加を賜りたく、ご通知申し上げます。

◎ 同封書類

1. 平成24年度「私立短大学生生活指導担当者研修会」実施要領
2. 研修会参加申込書
3. グループ討議に関するアンケート(個人票) 3通

※ 参加費振込み用紙は同封いたしておりません。

参加申込み締切り期日 平成24年10月24日(水)

2012・11. 28～11. 30 / NIIGATA

平成24年度

私立短大学生生活指導担当者研修会
実施要領

主催・一般財団法人 私学研修福祉会 協力・日本私立短期大学協会

多様化する学生への支援のあり方—短大生活の活性化をめざして

現在の日本は、外交・内政ともに多くの課題が山積しているにもかかわらず、有効な手立てが講じられていない現状に、多くの国民の間に強い閉塞感が広がっています。

高等教育においては、少子化によって「大学全入時代」を迎え、大学・短期大学を取り巻く状況は著しく変化しています。とりわけ、短期大学は四年制志向も相まって学生確保は年々厳しさを増しています。

さらに、長引く不況で経済状況が悪化し、奨学金を申請する学生が大幅に増加しています。就職活動の早期化・長期化によって、ゆとりある短大生活は阻害され、しかも短期大学卒業後、必ずしも正規雇用での採用が保障されているわけではありません。

このような厳しい環境のもと、キャンパスでは様々な問題を抱えた学生が増え、経済面・学修面・就職活動・メンタルヘルスなどにおいて、多様な支援が求められています。

今回は、最近急増している発達障害学生への支援を話題の一つとして取り上げました。現状では、発達障害を持った学生に対して、日常のかかわりの中でどのように対応したらよいかのかが共通の課題となっています。そこで、「大人の発達障害の理解と対応」をテーマとした講演や発達障害を含めた障がい学生への具体的な取組み事例などを通して、発達障害への理解を少しでも深めたいと思います。

加えて、短期大学における豊かな学生生活の実現のためには、学生の主体性を育て、短期大学の構成員としての自覚を促すことが大切です。とりわけ、学生の自主的な活動に対して、我われ学生生活支援担当者が果たす役割は大変重要になっています。グループ討議においては、具体的なこれら支援策について、闊達な議論が展開されることを期待しています。

最後になりましたが、この研修会での成果が、各短期大学における学生生活の活性化に繋がることを切に願っております。

実施要領

- 開催期日 平成24年11月28日(水)～11月30日(金)の3日間
但し、11月28日(水)は、短大見学会(希望者のみ)
- 研修会場 新潟市「ホテルオークラ新潟」(11月29日・30日の2日間)
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 <後掲案内図参照>
電話 025(224)6123
- 参加資格 私立短期大学の理事長・学長 および 教職員の方々 並びに 学生指導・
支援担当部署の教職員・学寮関係の教職員で、定員250名に達し
次第締切ります。
- 参加経費 全日程で1人30,000円。(参加費、情報交換会費、昼食代を含む)
- 短大見学会場
- (1) 新潟青陵大学短期大学部
〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939 TEL 025(266)0127
- (2) 新潟中央短期大学
〒959-1322 加茂市学校町16-18 TEL 0256(52)2120
- 「短大見学会」は、研修会前日の11月28日(水)の午後2時～午後4時
まで、各短大にて現地集合、現地解散にて実施いたします。
上記のどちらかの短期大学に見学を希望される場合は、後掲のそれぞ
れの短期大学の所在地をご確認のうえ、午後2時までに各集合場所にお集
まりください。
なお、参加申込書に希望の見学先を必ず明記してください。
- 宿 泊 本研修会参加に伴う宿泊については、各自ご手配ください。
なお、研修会場の『ホテルオークラ新潟』に宿泊を希望される場合には
同封の「宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、直接、ホテルオークラ新潟
までお申込みください。
- 問合せ先・申込み:「ホテルオークラ新潟」客室予約まで
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53
電話番号: 025-224-6123
FAX番号: 025-224-7060
-

■その他

(1) 研修会の受付は、11月29日(木)の午前9時30分より、研修会場の「ホテルオークラ新潟」4階『コンチネンタル』前ロビーにて行います。

(2) グループ討議は、「大学主体の活動」「課外活動」「心身の健康」「福利厚生」の4つのテーマを設定し、所属を希望するテーマごとにグループ分けを行います。

各グループにおいて、第1日は共通テーマについて、第2日は個別のテーマについて、それぞれ討議を進めます。

なお、参加希望の多いテーマについては、運営委員会にて、適宜小グループに分けますので、ご了承ください。

(3) グループ討議の際の参考資料として、貴学の学生便覧、学生生活の手引き、ハンドブック、諸規程類、学生新聞などの印刷物で、閲覧可能な資料がありましたら、当日ご持参ください。

(4) グループ討議を円滑に進めるため、事前に別紙『グループ討議に関するアンケート』（個人票）の提出をお願いいたしております。各自ご記入のうえ、参加申込みの際、事務局までご提出ください。

(5) 11月29日(木)の研修終了後、午後6時より「情報交換ネットワークの会」を開催いたします。

参加される際、各自、名刺をたくさんお持ちください。

研修内容

■開会挨拶

日本私立短期大学協会 学生生活委員会 委員長 大谷 恩 氏
名古屋短期大学 理事長

■講演 I

大人の発達障害の理解と対応 —大学生、短大生の生活指導・就労支援—

福島学院大学大学院 福祉心理学部教授・学部長 星野 仁彦 氏

〈星野仁彦（ほしの・よしひこ）氏 プロフィール〉

昭和48年 福島県立医科大学卒業(神経精神科入局)

昭和54年 医学博士 昭和59年～60年 米国エル大学・児童精神科留学

平成13年3月 福島県立医科大学(神経精神科・助教授)退職

平成13年4月 福島学院大学短期大学部教授・メンタルヘルスセンター初代所長

平成15年4月 福島学院大学・福祉心理学部教授(初代学部長)

平成19年4月 福島学院大学大学院・福祉心理学部教授・学部長

専門分野／児童青年精神医学・精神薬理学・スクールカウンセリング

著書／多数(下記に2011年に出版された書籍を紹介)

「それって大人のADHDかもしれません」 アスコム(2011年2月)

「空気が読めないという病」 KKベストセラーズ(2011年3月)

「発達障害が見過ごされる子ども、認めない親」 幻冬舎(2011年3月)

「発達障害に気づかない大人たち(職場編)」 祥伝社新書(2011年4月)

「子どものうつと発達障害」 青春出版社(2011年11月)

■事例報告

チーム援助による学生支援ネットワーク活動の実践 —「特別な支援」から「ユニバーサル支援」へ—

プール学院大学短期大学部 学生支援センター長

中村 健 氏

プール学院大学、プール学院大学短期大学部では、学校心理学の心理教育的援助サービスに倣い、予防・開発的援助を行うことを試みながら、障がいの有無に依らず全ての学生を対象として「学生支援センター」が中心となり、学生支援ネットワークによる「ユニバーサル支援」を行っている。結果、学生への支援が平均化して休学、中途退学者も減少している。

■グループ討議

多様化する学生への支援のあり方—短大生活の活性化をめざして

(第1日)

〈共通テーマ〉

- I) 経済的困窮学生への支援
- II) 不適応学生への支援
- III) 休・退学者減少への取組み

(第2日)

〈個別テーマ〉

- ① 大学主体の活動
- ② 課外活動
- ③ 心身の健康
- ④ 福利厚生

■講演 II

歯を診て人を知り、人を見て社会を知る

日本歯科大学 新潟生命歯学部衛生学講座教授 小松崎 明 氏

〈小松崎 明 (こまつざき・あきら) 氏 プロフィール〉

平成 5年3月 日本歯科大学大学院博士課程修了

平成 5年4月 日本歯科大学助手・新潟歯学部衛生学講座

平成 8年4月 日本歯科大学講師・新潟歯学部衛生学講座

平成16年4月 日本歯科大学助教授(准教授)・新潟歯学部衛生学講座(現在に至る)
大学院新潟歯学研究科担当・口腔環境保健学(現在に至る)

平成20年4月 日本歯科大学新潟生命歯学部学生部副部長併任(現在に至る)

平成24年4月 日本歯科大学新潟生命歯学部 衛生学講座 教授

学位／平成5年3月 博士(歯学)・日本歯科大学

免許・認定医・指導医等

平成 元年6月 歯科医師免許(第108414号)

平成11年4月 日本顎咬合学会認定医(第300651号)

平成18年4月 日本口腔衛生学会・地域保健認定医(第13号)

平成21年4月 日本口腔衛生学会・地域保健指導医(第19号)

第16回日本顎咬合学会学術大会優秀発表賞受賞, 1998.

■閉会

日程

11月28日(水)

※希望者のみ

2:00

短大見学会

4:00

現地集合・現地解散

見学先

- ・新潟青陵大学短期大学部
- ・新潟中央短期大学

11月29日(木)

9:30

受付

10:00

開会挨拶

10:20

オリエンテーション

11:00

講演Ⅰ

12:20

昼食・休憩

1:20

事例報告

2:30

会場移動・休憩

3:00

グループ討議

5:30

会場移動・休憩

6:00

情報交換
ネットワークの会

8:00

11月30日(金)

9:00

グループ討議

12:30

昼食・休憩

1:30

講演Ⅱ

3:00

閉会挨拶

3:15

運営委員（指導員）

大谷 恩 名古屋短期大学 理事長（委員長）
松村 敦子 目白大学短期大学部 学生支援部長（副委員長）
橋谷田恵子 桜の聖母短期大学 学生部長
幸田 和也 聖徳大学短期大学部 学生部次長
本橋 正人 青山学院女子短期大学 学生課長
富永 紀子 戸板女子短期大学 学生部主任
小形 浩道 東京農業大学短期大学部 学生生活支援課長
宇部 弘子 日本体育大学女子短期大学部 准教授
宮本 朱 文化学園大学短期大学部 学生課長
辻 昭 東海大学短期大学部 事務室長
水野 康隆 名古屋学芸大学短期大学部 学生課長
水口美知子 名古屋経済大学短期大学部 准教授
内藤 智徳 名古屋短期大学 学務部次長
内田康太郎 プール学院大学短期大学部 学生課長
岡本 幸治 平安女学院大学短期大学部 准教授・学生部長代理
竹腰 健吾 園田学園女子大学短期大学部 学生支援部課長
谷村 勇一 武庫川女子大学短期大学部 学生課長補佐

（順不同・敬称略）

「ホテルオークラ新潟」

〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53

電話番号: 025-224-6123

FAX番号: 025-224-7060



- 新潟駅（上越新幹線、在来線）から、徒歩約15分
- 新潟空港から、新潟駅までリムジンバス利用で約30分

短大見学会

◆ 開催日時

平成24年11月28日（水）

午後2時～午後4時（現地集合・現地解散）

◆ 見学先短大（一短大を選択）

(1) 新潟青陵大学短期大学部

(2) 新潟中央短期大学

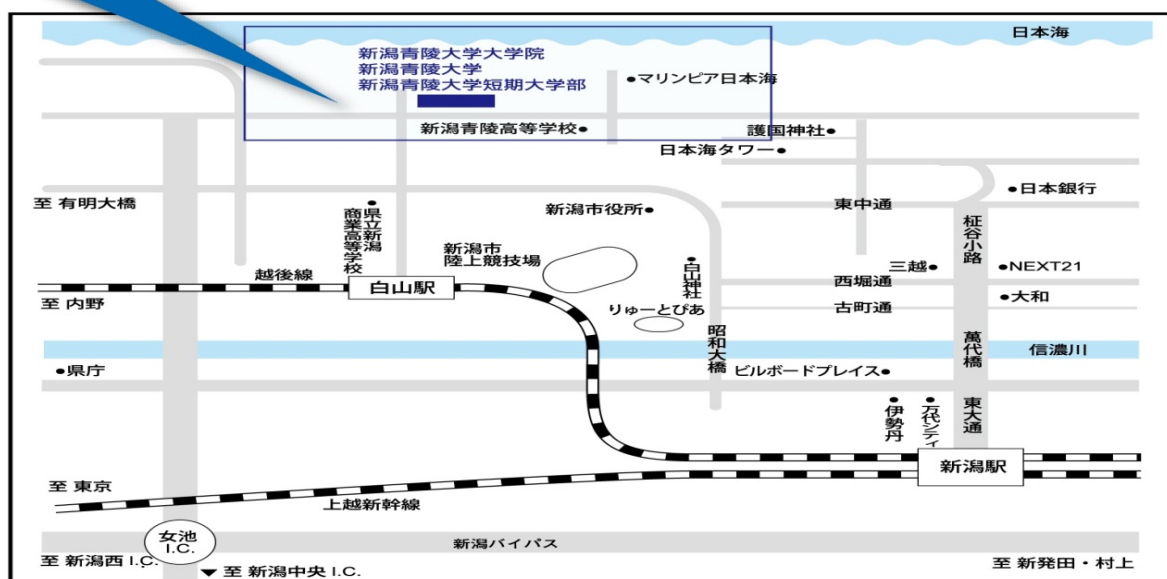
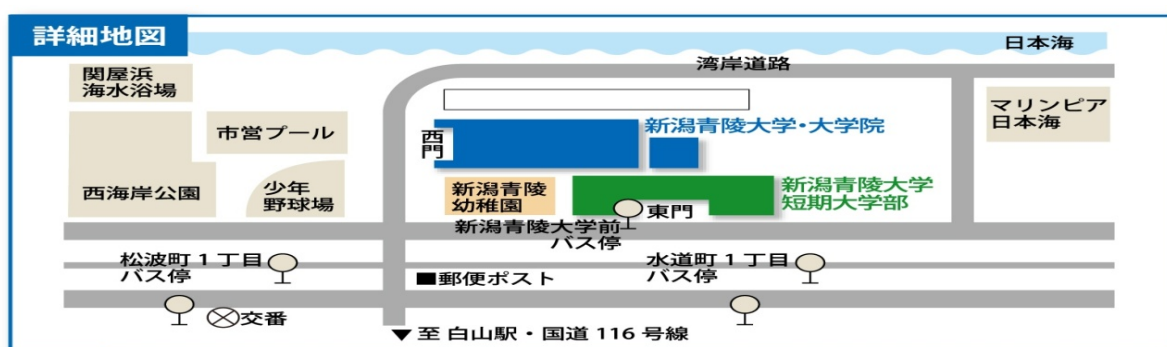
■ 希望者のみを対象

* 見学先短期大学のより詳細な情報は、各短期大学のホームページをご覧ください。

■新潟青陵大学短期大学部

新潟青陵学園は、明治33年4月に「実学教育」をめざす女子工芸学校として幕を開け、100余年の歴史を刻み、現在は、大学院、大学、短期大学部、高等学校、幼稚園を擁する学園として着実に発展してきました。この間、短期大学部では、平成16年に新潟青陵大学短期大学部へと名称変更し、「人間総合学科人間総合コース」「人間総合学科介護福祉コース」「幼児教育学科」の2学科2コース構成で、現在、約690名の学生が、それぞれの分野に特化した専門性の高い知識・技術を修得しています。

また、自立して人生を切り拓く高い専門性や社会性とともな確かな「就業力」をも兼ね備えた人材を育成し、一般企業をはじめ、介護・保育の現場など、地域社会のニーズに応える数多くの卒業生を輩出しています。



新潟青陵大学短期大学部（担当・案内／経営企画課 大谷 大）

住所 新潟県新潟市中央区水道町1丁目5939番地

電話 025(266)0127(代表)

交通 ・新潟駅万代口バスターミナル11番線乗り場から
「新潟青陵大学・水族館前行き」バスで20分、新潟青陵大学前下車。
・JR越後線白山駅より徒歩15分

集合場所 1号館1階 1103会議室

■新潟中央短期大学

本学は暁星商業短期大学（商業科）という名称で昭和43年に設立されました。その後、昭和56年に加茂暁星短期大学に校名を変更し、幼児教育科を開設、昭和61年に新潟中央短期大学に校名を変更し、商業科を商学科に変更しました。さらに平成6年に商学科を改組転換し、新潟経営大学（経営情報学部）が設立されました。本学は現在幼児教育科（1学年定員80人、学生数約160人）のみの小規模の短期大学です。仏教（禅宗を中心とする）にもとづく教育の伝統、建学の精神を継承し、子育て支援の人材（幼稚園教諭、保育士）を2,000人以上輩出してきました。恵まれた自然環境の中にあります。



新潟中央短期大学（担当・案内／事務長 小柳健一）

住 所 新潟県加茂市学校町 16 番 18 号
 電 話 0 2 5 6 (5 2) 2 1 2 0 (代)
 交 通 燕三条 I.C. 1 より車で約 30 分

※車でお越しの場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

J R 加茂駅から徒歩約 25 分

集合場所 2階 会議室

参加申込み等

■ **申込み方法** 消費税法との関連により、参加申込書は日本私立短期大学協会あてご送付願いますが、参加費の納入は一般財団法人私学研修福祉会あてご送金ください。

■ **参加費の納入先** 一般財団法人私学研修福祉会(短大口) ※(たんだいくち)
三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通預金
普通 1225036

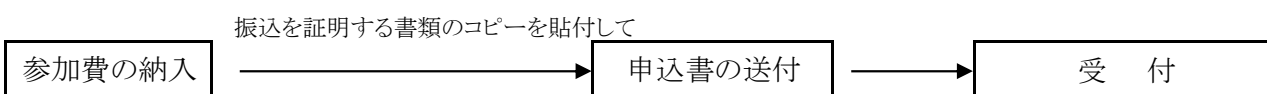
■ **申込書の送り先** 〒102-0073
東京都千代田区九段北4-2-25(私学会館 別館6階)
日本私立短期大学協会 学生生活研修会 係

■ **納入について** ・各短大により、適宜、前記の銀行口座にお振込みください。(振込み用紙は同封いたしておりません。)
その際、必ず個人名のみではなく、短期大学名を明記してください。
また、振込み手数料は、貴学にてご負担いただきますようお願いいたします。
・参加者が複数の場合は一括してお振込みください。
・一度納入された参加費は原則として返還いたしません。

■ **申込みに際して** 参加申込みは、同封の「研修会参加申込書」に所要事項を記入し、**裏面に参加費の振込みを証明する書類のコピーを貼り付けてください。**

=従って、申込みは次の順序となります。

①一般財団法人私学研修福祉会へ ②日本私立短期大学協会へ



※事前の連絡なしに、FAXで申込書を送られても受付はされません。

※学内事情等により振込みが遅れる場合は、ご一報ください。

ただし、後日に正式な申込書が郵送にて届かない場合は、受付無効となることもあります。

申込み締切り期日 平成24年10月24日(水)

* ご質問、お問合わせは日本私立短期大学協会事務局(中澤)まで。

TEL 03-3261-9055

FAX 03-3263-6950
